

平成26年度当初予算 施策 取組概要

**231 子どもの育ちを支える家庭・地域づくり**

(主担当部局：健康福祉部)

- 23101 子ども条例の普及と推進 (健康福祉部)
- 23102 家庭力・地域力の向上支援 (健康福祉部)
- 23103 子どもの保護対策の推進 (健康福祉部)

**県民の皆さんとめざす姿**

子ども自身の持つ力を育み伸ばそうとする「子どもの育ちを支える視点」が社会全体で共有され、子どもを見守り、豊かに育てることのできる家庭・地域づくりが進んでいます。

**平成27年度末での到達目標**

「三重県子ども条例」の普及啓発、条例に基づく取組の推進などを通じて、大人が子どもの育ちや子育てについての理解を深めるとともに相互に連携し、子どもへの体験・交流機会の提供、有害環境からの保護などに自発的に取り組んでいます。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
「三重県子ども条例」の認知度	/	50.0%	60.0%		70.0%	100%
	35.0%	35.5%			/	/
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	「三重県子ども条例」を知っている県民の割合					
26年度目標値の考え方	平成25年度の上半期は、みえの子育てサポート講座を30回実施し、条例について説明を行うとともに、「家族の絆一行詩コンクール」やキッズ・モニターの募集に合わせ、条例の周知を行いました。平成26年度は、子どもや子育て家庭が関わる事業、関係機関や市町と連携し、あらゆる機会を生かして三重県子ども条例の啓発に努めることとし、25年度の目標値を踏まえ70.0%に設定します。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
23101 子ども条例の普及と推進 (健康福祉部子ども・家庭局)	キッズ・モニター活用事業数	/	8事業	9事業		10事業	10事業
		7事業	8事業			/	/
23102 家庭力・地域力の向上支援 (健康福祉部子ども・家庭局)	「みえ次世代育成応援ネットワーク」会員数(累計)	/	1,155 会員	1,270 会員		1,385 会員	1,500 会員
		1,048 会員	1,124 会員			/	/
23103 子どもの保護対策の推進 (健康福祉部子ども・家庭局)	子どもの利用の多い店舗のうち青少年健全育成協力店の割合	/	92.5%	95.0%		97.5%	100.0%
		90.0%	92.7%			/	/

## 進捗状況（現状と課題）

- ・ 結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられるように取り組み、県民の幸福実感を高めていくため、7月に三重県少子化対策総合推進本部を設置し、主な取組方向について検討しています。今後、多様な主体による取組の相乗効果が発揮されるよう、県民が一体となって少子化対策に取り組む機運の醸成等を行う必要があります。
- ・ 子育て支援について志を高くする10県で子育て同盟を立ち上げました。7月28日に鳥取県で子育て同盟サミットを開催し、地方の立場から、少子化対策・子育て支援策について共同事業の実施や国への提言を発表しました。今後10県で、子育て支援の共同取組とその事業化について検討していく必要があります。
- ・ 平成26年度の、男性の育児参画や地域全体で子育てを支援する機運を醸成するための全国大会の開催に向けて、関係機関との打合せを進めています。引き続き、全国大会の準備を進めるとともに、この大会を契機に男性の育児参画等の機運を醸成する必要があります。
- ・ 子どもが主体的に参加し意見を表明する機会や地域で子育て支援を実践する場の拡大をめざして、こども会議やこどもハローワークの開催手法をモデルケースとしてとりまとめています。これを参考にして、子どもを主体とした取組が県内各地で促進されるよう、市町に対し啓発を行う必要があります。
- ・ 子どもの意見を聴く機会として、キッズ・モニターによるアンケートを4回実施しました。今後は、登録者（小学4年生～高校3年生）をさらに拡大するとともに、提供された子どもの意見がどのように施策に活用されたかを伝えていく必要があります。
- ・ 子ども専用の電話相談窓口であるこどもほっとダイヤルには、1,848件（9月末現在）の相談が寄せられ、専門的な対応が必要な案件8件については、児童相談所や教育委員会等関係機関と連携して対応しました。今後も子どもたちに対し、電話相談窓口の一層の周知を図る必要があります。
- ・ 子どもや家族等に「ありがとう」の気持ちを伝える「家族の絆一行詩コンクール」を実施しました。今後、さらに多くの方に家族の絆の大切さを感じてもらえるよう、周知・啓発を行い、取組数の拡大に努める必要があります。
- ・ 子育てサポート講座の活用について年度当初から教育委員会や市町に働きかけて出前講座を実施し、「みえの子育てサポーター」を997人（9月末現在）養成しました。今後は、養成した「みえの子育てサポーター」が、市町やみえ次世代育成応援ネットワークの企業・団体と連携して活動できるよう支援する必要があります。
- ・ 親なびワークのワークショップのテーマや実施方法等についてリニューアルを進めています。親なびワークの普及促進のためには、市町や関係機関と連携して実施していく必要があります。
- ・ 10月5日、6日、県立みえこどもの城を中心に、多くの企業・団体の出展・出演により「第8回子育て応援！わくわくフェスタ」を開催しました（参加者：1万6千人）。引き続き、みえ次世代育成応援ネットワークの会員数の拡大を図るとともに、会員企業・団体による、子どもの育ちや子育て家庭を応援する自発的な取組を促進する必要があります。
- ・ 三重県青少年健全育成条例に基づく立入調査を行うとともに、子どもの利用が多い店舗に対して青少年健全育成協力店の登録を働きかけることにより、子どもを有害環境から保護する取組が進みました（青少年協力店割合：93.2%（8月末現在））。引き続き立入調査や協力店への登録要請など、社会全体で有害環境をなくすための活動が必要です。

### 健康福祉部

- ・ 多様な主体が実施する少子化対策に資する取組に関して、それぞれの取組の相乗的な効果が発揮されるよう、県民が一体となった機運の醸成等を図ります。また、地方目線の少子化対策に資する市町の取組を支援します。
- ・ 10 県の子育て同盟で子育て支援の取組を検討し、他県と連携しながら実施していきます。
- ・ 「ファザーリング全国フォーラム in みえ (仮称)」を開催し、男性の育児参画や地域全体で子育てを支援する機運を醸成します。
- ・ 平成 25 年度にまとめるこども会議等のモデル事業を活用して、子どもを主体とした取組が市町に広がるよう周知・啓発を行います。
- ・ キッズ・モニター制度の目的や取組結果について、募集段階からHPやチラシで子どもにわかりやすく伝えるとともに、新小学4年生への周知を強化します。
- ・ こどもほっとダイヤルを運営し、子どもからの相談に対して、児童相談所や教育委員会などの関係機関と連携して対応するとともに、子どもへの周知に努めます。
- ・ 家族の絆や地域の絆を深めるため、「家族の絆一行詩コンクール」の一層の周知・啓発を行い、取組数の拡大に努めます。
- ・ 引き続き、子育てや子どもとのつきあい方に不安を持つ保護者やまわりの大人に対し、子育てサポート講座の活用を働きかけ、「みえの子育てサポーター」を養成するとともに、市町等と連携して地域での活動を促進します。
- ・ リニューアルした親なびワークについて、子育て支援拠点や子育てサークル等で実施されるよう推進役養成講座を開催するとともに、市町や関係機関の主体的な実施について働きかけます。
- ・ 引き続き、みえ次世代育成応援ネットワークの会員数の拡大をめざすとともに、会員企業・団体が市町や地域の活動団体などと連携して、各地域での子育て支援活動等に取り組めるよう情報交換・交流の機会を提供していきます。
- ・ 三重県青少年健全育成条例に基づく立入調査を実施するとともに、青少年健全育成協力店への登録について、子どもの利用の多い店舗を重点的な対象として働きかけを行います。

## 主な事業

### 健康福祉部

- (新) 少子化対策総合補助金【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】  
予算額：(25) ー 千円 → (26) 30,000千円  
事業概要：「地方目線」、「当事者目線」の少子化対策を進めるにあたって重要な役割を担う市町に対して、地域の実情に応じたきめ細かな対策が講じられるよう支援します。
- (新) 県民運動等推進事業【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】  
予算額：(25) ー 千円 → (26) 12,739千円  
事業概要：結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、多様な主体の参画を得ながら少子化対策に関する県民運動を展開し、県民が一体となって少子化対策に取り組む機運の醸成等を行います。

● (新) 男性の育児参画推進事業【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】

予算額：(25) 1, 000千円 → (26) 4, 637千円

事業概要：安心して子供を産み育てるためには、男性の育児参画が重要であることから、「ファザーリング全国フォーラム in みえ (仮称)」の開催など、機運を醸成する取組や、男性が育児参画をしやすい環境づくりを行います。

● 子ども施策総合推進調整事業【基本事業名：23101 子ども条例の普及と推進】

予算額：(25) 2, 206千円 → (26) 1, 164千円

事業概要：子ども条例の基本理念を実現するため、市町や教育委員会と連携して、こども会議の開催促進や子どもが子ども条例について学ぶ機会の提供に取り組みます。また、キッズ・モニター制度を活用し、子どもの視点を県政に生かせるよう子どもからの意見を集めます。

● 子ども専用電話相談事業【基本事業名：23101 子ども条例の普及と推進】

予算額：(25) 11, 868千円 → (26) 11, 630千円

事業概要：子どもの悩みに継続的に寄り添い、各専門機関と連携して子どもを支えるため、子ども条例に基づき設置した子ども専用相談電話「こどもほっとダイヤル」による対応を行います。

● 家庭の養育力向上事業【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】

予算額：(25) 4, 591千円 → (26) 3, 281千円

事業概要：地域で子どもの育ちを見守り支える取組が進むよう「みえの子育ちサポーター」の養成などを実施するとともに、家族の絆を深めるため親子がお互いを思いやるきっかけを提供する一行詩コンクールを行います。また、親なびワークについて、推進役養成講座を開催するとともに、市町や関係機関による主体的な実施について働きかけます。

● 家族の絆強化事業【基本事業名：23102 家庭力・地域力の向上支援】

予算額：(25) 9, 946千円 → (26) 7, 837千円

事業概要：地域の企業・団体、みえの子育ちサポーター、市町が参加した地域別懇談会を開催し、子どもの育ちや子育て家庭を支える取組を促進するとともに、みえ次世代育成応援ネットワークの会員の拡大を図ります。また、家族の絆や地域の絆を深めるため、子どもの思いや意見と地域別懇談会で検討された取組を結集し、子どもと大人がともにつくりあげるフェスティバルを開催します。

● 子ども・若者事業推進費【基本事業名：23103 子どもの保護対策の推進】

予算額：(25) 28, 245千円 → (26) 28, 318千円

事業概要：子どもを有害環境から保護するため、三重県青少年健全育成条例に基づく立入調査を実施するとともに、子どもの利用が多い店舗に青少年健全育成協力店として登録いただくよう積極的に働きかけを行います。